

2025年7月9日（水） 第7限

2・3年進路講演会

『大学受験はゴールではない～大学受験とその後のリアル～』

愛知大学 入試広報係長 後藤 憲浩氏

中学校教員 草野 夢華氏

「大学受験も就職活動も似た構造である。目標を定めて最後まで粘り強く頑張る経験が求められている。」

2、3年生対象に進路講演会を開催しました。多方面でご活躍されている後藤先生のユーモアあふれる熱い語り口に引き込まれあっという間の1時間でした。「頑張らずに合格を得ると、頑張ったけれど不合格。人生においてどちらがいいのか」の問いには、努力することの意味を改めて考えさせられたのではないのでしょうか。また、本校卒業生で中学校の教員をされている草野先生からは「一度きりの高校生活を自分の納得がいくまでやり尽くしてほしい」という力強いエールをいただきました。

【 生徒の感想 】

- ・今まで「大学受験のために勉強を頑張らない」と思っていたけど、大学受験がゴールではなく、スタートなんだと分かりました。そして大学受験には、合格すること以上に重要な意味があることを学びました。これから受験まで、そしてその後も全力で頑張ります。
- ・「今、自分の納得いくまでやり尽くすこと」この言葉がすごく刺さりました。半年後、がんばれた！やり切った！と思えるようにひとつひとつ丁寧に取り組んでいきたいです。
- ・根拠を分かりやすく話してくださったのでこういう話で初めて納得できました。失敗を恐れずやり切ることをモットーに頑張りたいと思いました。
- ・将来のことを考えるのが面倒で何も調べることなく、とりあえず岐阜大学と思っていたけれど、そもそも大学がゴールじゃなくて、将来につながられるよう考えなければいけないと聞いて、今のまますべてを後回しにしているのはだめだと思いました。
- ・慢心して楽しんで入れるところを目指すのではなく、チャレンジして自分の力を伸ばすことを意識していきたいと思いました。
- ・全力で頑張った経験は自分の中に残り続けるということに気付くことができました。就職でも大学受験でも自分のことをよく知り納得がいくまで取り組み、最後まで諦めないことを大切にしたいです。



後藤先生、草野先生、貴重なご講演をいただきありがとうございました。